

# CBM-520SLT-B

## 8 トラクタからのとりはずし

- ① トラクタとブームスプレーヤを平らな場所に置きます。
- ② ターンブームを右側に折りたたみ、ロックピンを差し、固定します。
- ③ トラクタのPTOをOFFにし、駐車ブレーキをかけます。
- ④ スプレーヤスタンドを後、前の順に降ろし、ターンブームスタンドをスプレーヤスタンドと同じ高さにセットします。
- ⑤ ブームをブーム受けからはずし、付属のブームスタンドをブームに取付け、下に降ろします。
- ⑥ 振れ止めをゆるめます。(スクリュー)
- ⑦ トラクタ油圧ロックを解除し、ローリンクを下げ、トラクタトップリンクをはずします。

**注意** ●ローリンク操作はゆっくり行います。

- ⑧ トラクタのエンジンを停止します
- ⑨ トラクタ側ユニバーサルジョイントをはずします。
- ⑩ ローリンクを右、左の順にはずします。
- ⑪ ブームスプレーヤが安定した状態を確認します。

### 警告

●ブームスプレーヤのとりつけ、とりはずしを行う場合、薬剤タンクを空にして行ってください。

## 9 運転する前に

### (1) 各部の点検

- ① 各部締付部 (ボルト、ナット、ピン、ホース接続部等) のゆるみを点検します。

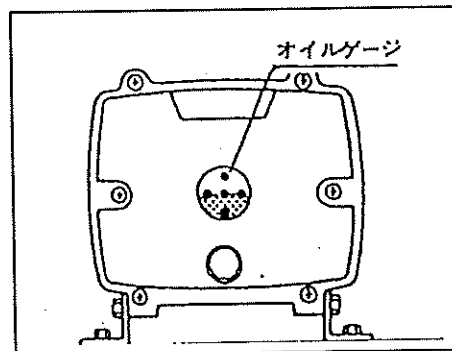
**注意** ●特に吸水ホースの接続部より空気を吸い込むと、吸水しなかったり、ポンプが異常音を発生したりして破損します。

- ② 配管ホースにつまりや破損及びよじれ等がないか確認します。
- ③ 吸水ストレーナ内のストレーナ、分水器内のストレーナ、薬剤タンク水入り口の水コシ網を点検清掃します。

### (2) 各部への給油

#### ① 噴霧用ポンプ

- (イ) クランクケースに、オイルゲージの赤点までオイルが入っているか、又、汚れていないか確かめます。

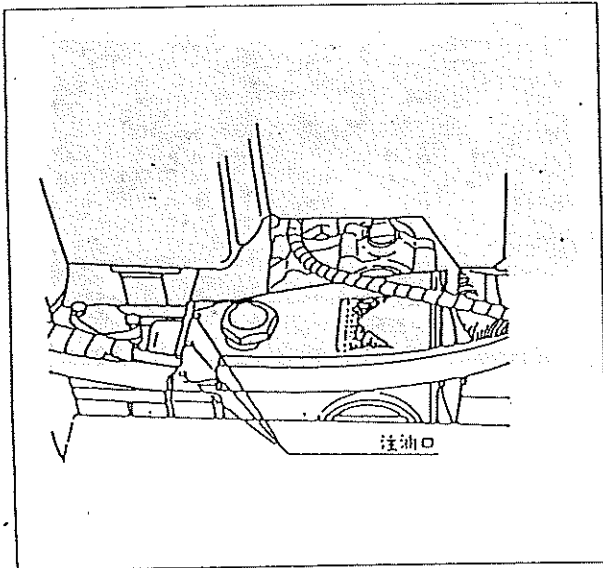


使用オイル モビール油 SAE#30 容量1.15ℓ

標準オイル交換時間 : 初 回 … 50時間目

2回目以降 … 100時間毎

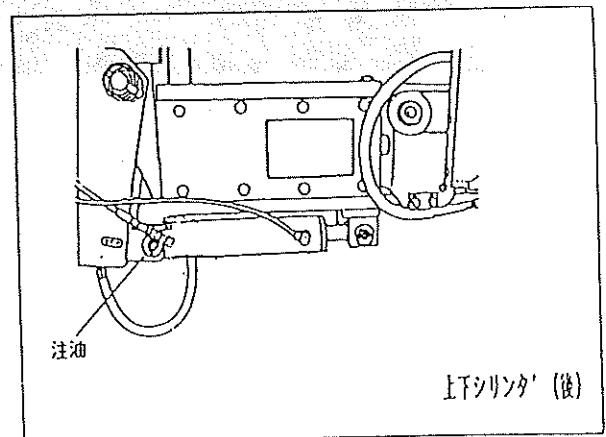
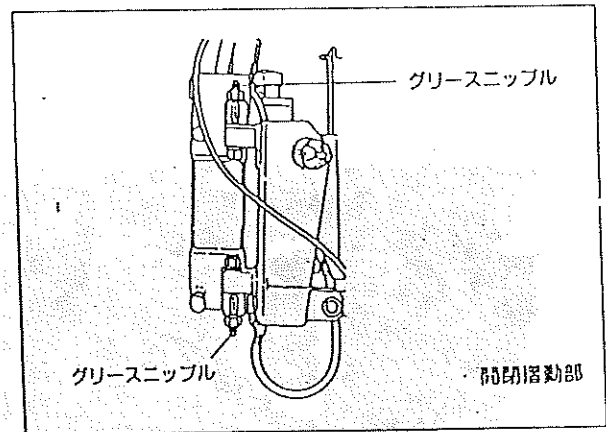
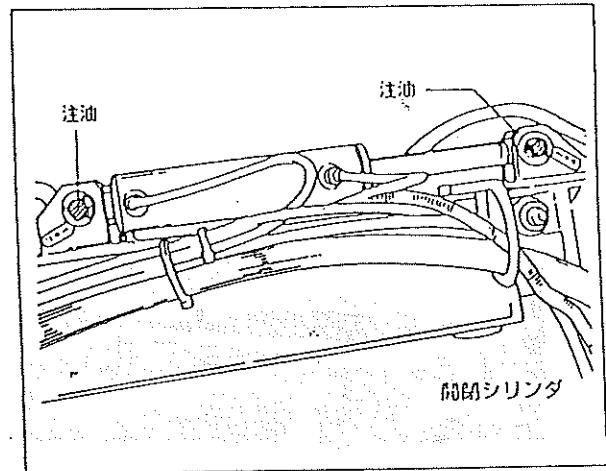
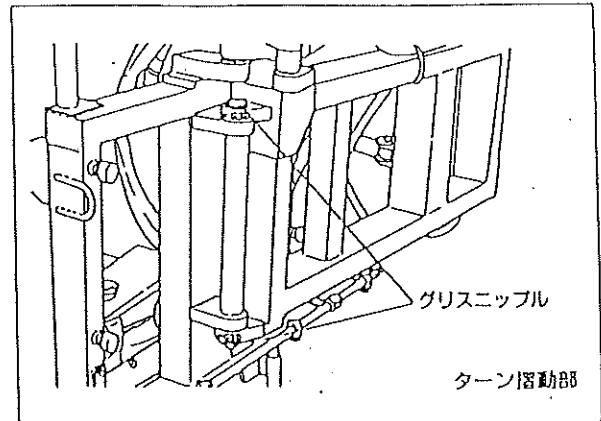
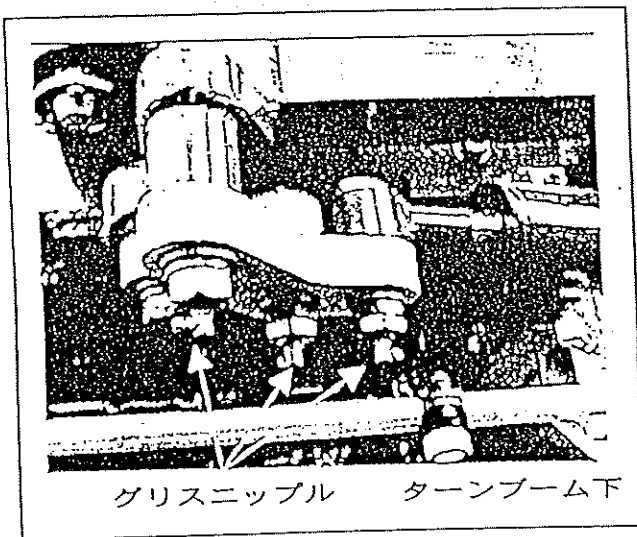
(d) クランクケースのシリンダ取付け部にある3個の注油口に油差しでモビール油(始業時毎)を、数滴注油します。

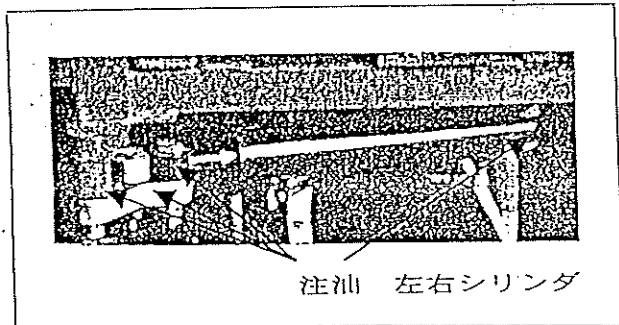
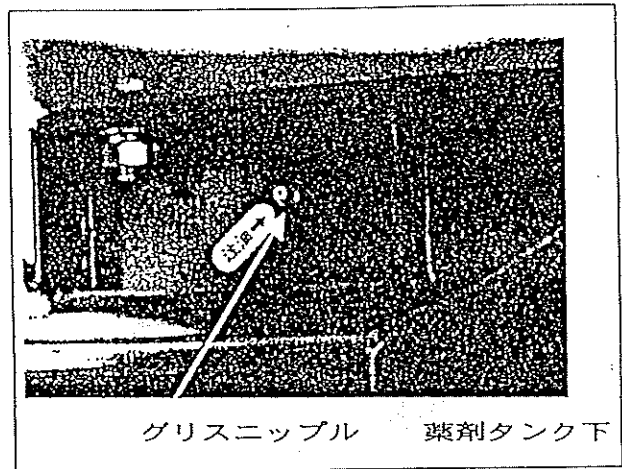
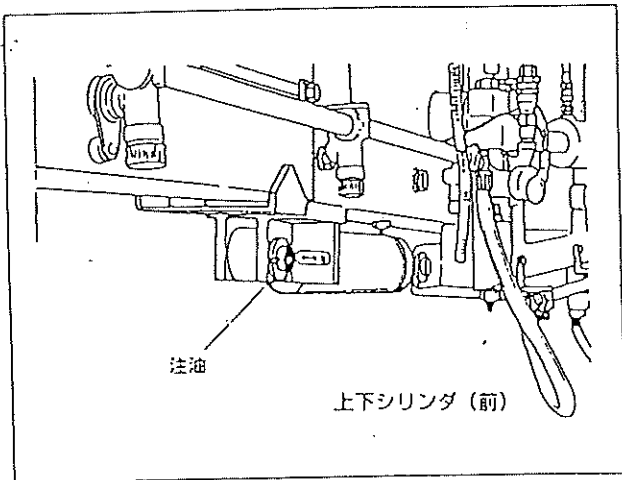


**注意** ● 運転前には毎回必ず行ってください。

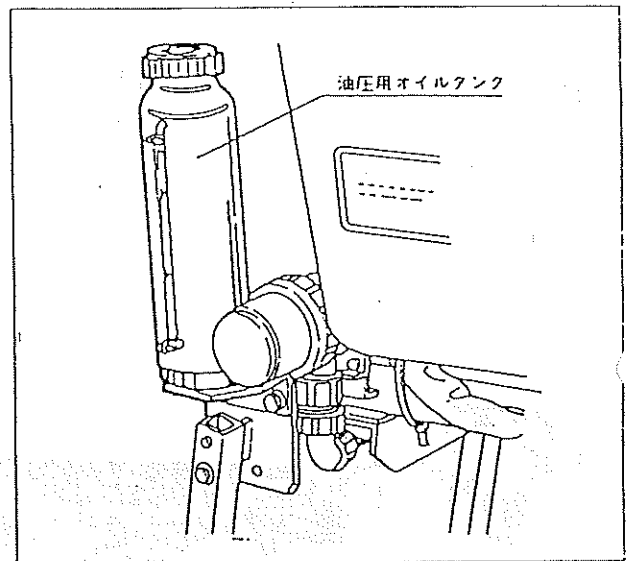
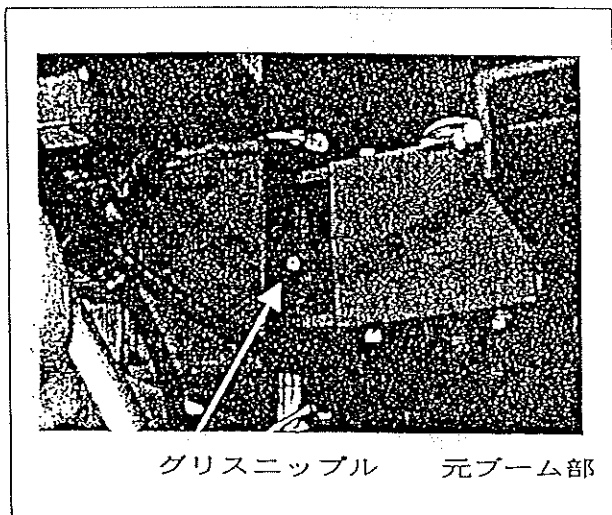
② グリスニップル個所のユニバーサルジョイント(両側 2ヶ所)、ブーム各リンク部(ターンブーム 3ヶ所)、薬剤タンク攪拌機用等へ、グリスアップします。

グリス 20時間毎 適量



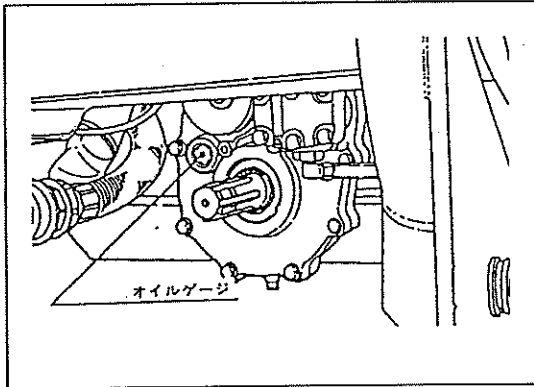


③油圧オイルの油量を点検し、不足している時は補充します。



使用オイル カーボン油 #90 (ISO, VG32) 容量 20  
 標準オイル交換時間：初 回 … 50時間  
 2回目以降 … 2年毎

- ④ギヤケース外部へ油が漏れていないか確認します。  
 オイル交換は初回 50 時間目、2 回目以降は 600 時間毎に行ってください。



使用オイル ギヤ油SAE90 0.4L

- 注意**
- 上記の油類の種類、交換時期は、厳守してください。機械の寿命が短くなることがあります。
  - 油量はゲージでチェックし、補充する場合は、規定量入れてください。
- 油類は多すぎても少なすぎても機械に悪影響があります。

- 注意**
- ブーム高低用チェーンには、年1回錆防止のため、全面にグリスを塗布してください。

⑤ブーム調整及び給油

- ブーム伸縮用ワイヤが伸びた場合、チェーンの張りを調整してください。  
 ブームをいっばいに伸ばした状態で、ターンバックルを回し、調整します。  
 (たるんだ状態で使用すると、ワイヤがはずれることがあります。)  
 (この状態は、ブームを伸ばしてゆきストッパに当たった時、ブーム本体にチェーンが接触しない程度です。)

- 注意**
- ブーム伸縮用チェーン、ワイヤには、年1回錆防止のため、全面にグリスを塗布してください。

ブーム調整及び給油の際は、最寄りの販売店へ御相談ください。

